



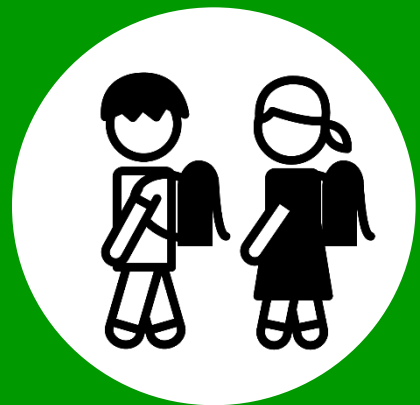
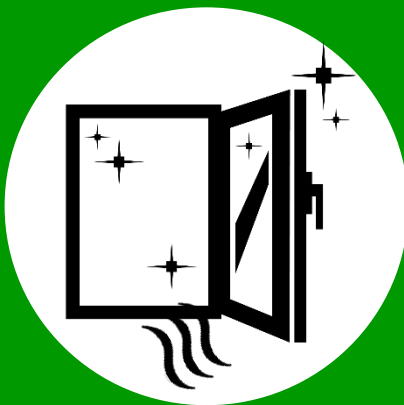
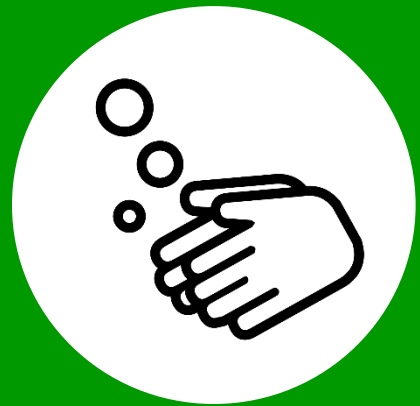
館林市版

学校 再開

ガイドライン

に向けた

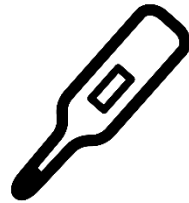
登校前・登校時 学校生活 給食
部活動 休校等の基準



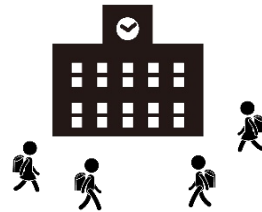
<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/>

本ガイドラインは、群馬県版を参考に作成したものです。
令和2年4月3日

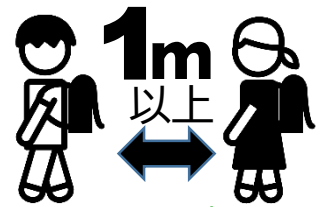
登校前・登校時



毎朝の検温



間隔をあける



はなれて歩く

- 毎朝、検温を行い、平熱+0.5℃以上の児童生徒は自宅で休養する。
- 平熱より高く、風邪症状がある児童生徒は、自宅で休養する。
- 登校時にはマスクを持参・着用した上で、周囲との間隔を1m以上空けて登校する。

※マスクがない場合は、家庭や地域の協力のもと、マスクを作成する。

- 学年、クラス単位で通学推奨時間を設定し、児童生徒が一斉に学校に集まることを避ける。
- こまめな水分補給のために、飲み物を持参する。
- 校舎に入る前に、発熱症状等がないか確認し(健康観察カードの活用)、体温が平熱より高い場合や体調不良が見られる場合は、健康観察をしっかりと行った上で帰宅させる。なお、検温を忘れた場合は、学校で実施する。
- 平熱+0.5℃未満であっても、登校後、平熱より高い場合や体調不良がみられる場合は、健康観察をしっかりと行った上で帰宅させる。
- 学校に登校したら、各教室に入る前に、手洗いを確実に行う。



動画はこちらから!
文部科学省YouTube「MEXTchannel」
<https://youtu.be/219-0tHGje8>



学校生活



手洗い



マスク



換気

- 休み時間ごとに手洗いを行う。手洗いの際、洗い場に児童生徒が集中しないよう、授業時間を短縮して、休み時間を長く設ける等をする。
- こまめな水分補給を行う。授業中にも水分補給を行うことを認める。
- 大声での発声等の場面に限らず、室内では常にマスクを着用する。
- 朝の会でマスクの着用について確認する。
- 換気のため、各教室は、対角線上の2か所以上の窓を常に開けておく。加えて、休み時間には、出入口のドアも開放する等、換気を徹底する。
- 蛇口、ドアノブ、手すり、スイッチ等、学校の共用部分は、できるだけ触れる回数を減らす。触れた場合は、アルコール等で消毒する。
- 室内においては、児童生徒間の距離をできるだけ離すとともに、大声を出すことは控えるようにする。
- 校内に、咳エチケットのポスターを掲示し、児童生徒への指導を徹底する。

※次頁ポスター参照

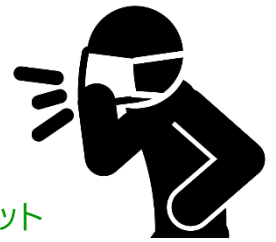
学校生活



水筒持参



咳エチケット



がっこうぎょうじ 学校行事については、3つの条件(密閉、密集、密接)を回避できない場合、

とうぶん あいだ じっし みあ 当分の間、実施を見合わせる。

しゅうがくりょこう えんそく げいじゆつかんしやうきやうしつなど しゆくはく とも きやうじ こうがい かつどう 修学旅行、遠足、芸術鑑賞教室等、宿泊を伴う行事や校外での活動は、

えんきまた ちゆうし 延期又は中止する。

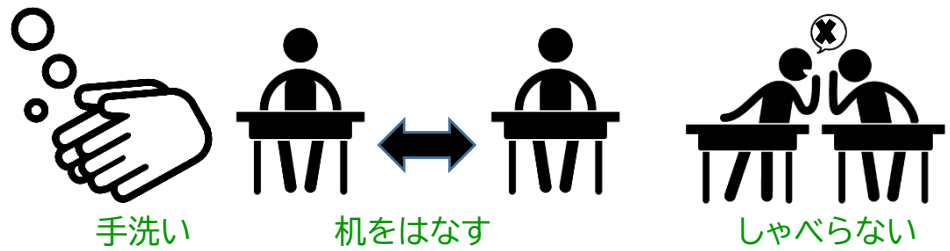


内閣官房:新型コロナウイルス感染症の対応について
<https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel-coronavirus.html>



感染予防のために、できること。
<https://www.bowlgraphics.net/covid19>
 この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。Supervision : Kenji Shibuya (King's College London), Yoshiro Hayashi (Kameda Medical Center), Narumi Hori (National Center for Global health and Medicine), Eiji Kusumi (Navitas Clinic) Design / Illustration : Takashi Tokuma (bowlgraphics inc.)

給食



- 食事の前には、給食当番はもとより、児童生徒等全員が手洗いを徹底する。
 - 給食の配膳を行う児童生徒及び教職員は、発熱や風邪症状がないか、マスクを着用する等、衛生的な服装であるか、手洗いを徹底しているか等、当番を行うことができるか毎日点検する。
 - 食事をする際には、机を向かい合わせにはせず、座席の間隔をできるだけ空けて、飛沫を飛ばさないように会話を控える等の対策を行う。
- ※食事はマスクを外すことから、近距離で会話をする状況は、特に感染リスクが
高い。

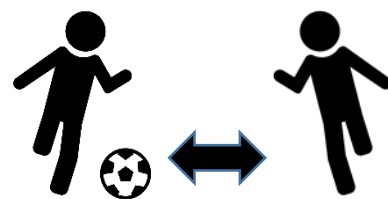
部活動



先生と



基礎体力



はなれる

- 部活動は、生徒の健康・安全の確保のため、生徒に任せて実施するのではなく、教師や部活動指導員等の指導の下で実施する。
- 学校生活と同様に、手洗い、水分補給、マスク着用、換気、アルコール消毒等、基本的な感染症対策を徹底した上で実施する。
- 活動に際しては、生徒間の距離をできるだけ空けて、大声での会話や発声は避ける。
- 部活動毎に、活動日・活動時間を設定し、3つの条件(密閉、密集、密接)が重ならないよう、実施内容を検討する。
- 疲労により感染リスクが高まるため、過度な運動は控える。
- 集団での活動機会が少なくなるため、個人練習がしやすい環境を整え、基礎体力等を養うことを推奨する。
- 部室等の利用に当たっては、短期間の利用とすることや、一斉に利用させないことで、密集を防ぐようにする。
- 発熱やだるさ等の風邪の症状が見られる生徒は、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養する。

休校等の基準・その他



- 児童生徒や教職員が、PCR検査を受けることになった場合や、濃厚接触者となった場合は、学校に連絡する。
- 児童生徒や教職員に1名の感染者が出た場合には、学級閉鎖とする。
- 児童生徒や教職員に2名以上の感染者が出た場合には、学校全体を臨時休業とする等の対応を行う。
- 児童生徒や教職員が濃厚接触者となった場合には、登校を認めないこととする。その上で、児童生徒または教職員の所属する学級及び部活動について、学級閉鎖及び活動停止とする等の対応を行う。
- 以上を基本としながら、症状の重さや、学校内における活動の広さ、接触者の多さ、地域における感染の広がり等を考えて判断する。その結果、学校全体の臨時休業にとどまらず、市内全体の臨時休業等も実施する。
- 東京都等への国による緊急事態宣言が発令された場合には、館林市新型コロナウイルス感染症対策本部において、その理由や内容を精査し、市内全校の臨時休業を実施することもある。
- 平熱+0.5℃以上発熱や咳などの風邪の症状は見られないが、保護者が新型コロナウイルスへの感染を恐れ、児童生徒を登校させることに強い不安を訴えた場合には「校長が出席しなくてもよいと認めた日」とし、欠席扱いしない。



問い合わせ先



館林市教育委員会 学校教育課 指導係 72-4111(内線228)